

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 七宮 圭						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 統計的手法を用いた経済学などに関連するテーマについての実証研究あるいは文献調査等							
〔演習内容〕 卒業研究では、各自設定したテーマについて主体的に「調べ、考え、まとめる」という研究活動を行い、その結果を適宜報告し、最終的に論文としてまとめます。 実証研究の場合には、春学期中に ① 先行研究の調査および整理作業。 ② 研究に使用するデータの入手、整理、分析作業。 を、秋学期中には、 ③ 分析結果の考察。 ④ 論文執筆と修正作業。 という手順を踏んで研究を行う予定です。また、その研究の進捗状況を毎月報告してもらいます。 先行研究などで使用されている高度な統計手法や数式の展開については必要があれば適宜解説します。 実証研究ではデータの入手、整理、分析作業に時間がかかります。遅くても12月が始まるころまでにはある程度の分析作業が終わっていないと結果を卒業論文にまとめるのは難しいと思いますので、その点を予めご了承ください。 文献調査の場合には、複数の文献を比較しながら読むことで考察を行い、実証研究と同様に毎月進捗状況を報告してもらい、その結果を論文としてまとめます。							
〔科目の到達目標〕 以下の2点を到達目標とします。 ・自ら設定したテーマをもとに、調査、分析、考察ができるようになること。 ・調査、分析、考察の結果を、卒業論文という形で他者に伝えるように、文章化すること。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4 ○	DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 研究テーマがある程度決まっていること、またその研究において統計分析の手法が必要であること。							
〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 月ごとの進捗状況の報告と、卒業論文の完成度により評価							
〔教科書等〕 研究テーマや進捗状況によって、必要があれば文献を提案します。							
〔実務経歴〕 なし							

授 業 スケ ジ ュ ー ル	
時 期	テ ー マ と 内 容
春学期	実証研究の場合： ・先行研究の調査および整理作業。 ・研究に使用するデータの入手、整理、分析作業。 文献調査の場合：先行研究の調査および整理作業。
秋学期 (11 月ま でを目 安に)	実証研究の場合：分析結果の考察。 文献調査の場合：先行研究の調査および整理作業。
秋学期 (12月か らを目 安)	論文執筆と修正作業